

（ご参考）受賞候補になる可能性のある事例のイメージ

実在のケースも参考にした、あくまでイメージとしての一例です。また、実際の選考において必ずしも評価が高くなるイメージを挙げたものではありません。

	代表分野	取り組み概要
1	交通安全	地域の自動車関連企業とボランティアグループがタッグを組み、子供や保護者を対象に、音楽や演劇などのパフォーマンスを通じて交通安全啓発活動を行い、子どもたちの交通事故の防止に役立てている。
2	地域活性化	いわゆる過疎地域において、自動車整備拠点も集約化が進む中、地元の自動車関連企業が連携し、地域の自動車ユーザーや雇用を守るためのビジネスモデル構築に挑戦している。
3	地域活性化・SDGs	地域の自動車関連企業が、地域の学童保育や養護学校の課外活動などにかかる費用を負担。自動車関連企業の見学会なども行い、将来に向けた職業意識や目標をもってもらう活動をしている。
4	地域活性化・災害支援	地域の主要自動車関連団体が企業を立ち上げ、大規模災害による廃棄物の保管場を提供するほか、地域の復興や、風評被害払拭に向けた活動に取り組んでいる。
5	地域活性化	地域の自動車販売会社の若手経営者が中心となり、次世代を担う子どもに、クルマの楽しさなどを知ってもらうことや、クルマを通じて何を残してあげられるのかをコンテンツにした地域発のモーターショーを実施している。
6	SDGs	地域の自動車関連企業が、高校生の見学会を受け入れ、同社のSDGs取り組み説明会などを開催。社内にプロジェクトチームを設け、PRするため独自キャラクターを創ったり、SNSやチラシなどに活用するかたちで取り組んでいる。

	代表分野	取り組み概要
7	モビリティ・地域活性化	地域のタクシー会社の系列企業が、Maasに関するアプリの開発を手掛け、地域振興や経済活性化に向けて自治体とともに実証実験を行っている。システム開発のみならず交通事業者向けの業務改善コンサルティングも提供するほか、交通弱者も少なくない地方でタクシー事業を営んできた強みとノウハウを活用し、MaaS社会の実現に寄与している。
8	自動車・ユーザー	自動車の分解整備や板金塗装などを手掛ける会社が、その高い技術力と運営管理体制、顧客対応力などを活かして、低予算で総合的なレストアを提供しながら、地元でクラシックカー、過去の人気車種や写真展の展示、顧客の交流会などを行い、地域の自動車文化の向上に努力を続けている。
9	地域活性化・災害支援	地域のレンタカー会社が地元自治体と連携し、災害時にキャンピングカーを避難所として活用するほか、新型コロナウイルスに対応する医療従事者の休憩場所などとしての利用を行っている。平常時でも宿泊施設としての利用をはじめ、リモートワーク、イベント時の救護室、授乳スペースなどとして、自治体や医師会経由で病院への貸し出しにも取り組んでいる。
10	交通安全・SDGs	産学官が連携し、地域高齢者の健康と交通安全を支援するため、販売会社を会場に、自治体が地域の高齢者に体力アップや認知機能維持の指導を行い、自動車関連企業が安全運転を指導する。
11	モビリティ・地域活性化	高齢者の免許返納増加や、バス・タクシードライバーの不足など、高齢者の移動手段確保という課題解決に向けて、地元の自動車関連企業が、自治体、IT企業と連携し、銀行や学校などをつなぐ自動運転EVを運行。市民や地元商工会の方の自主的な協力を引き出すことに成功し、安全な自動運転EVの運行を実現している。